

令和元年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

(1) 都立桜町高等学校 学校運営連絡協議会 (定時制課程)

(2) 内部委員の構成

校長、副校長、経営企画室長、教務主任、生活指導主任、進路指導主任 計6名

(3) 協議委員の構成

中学校通級学級担当教諭、世田谷区教育委員会適応指導教室相談員、世田谷区立三宿中学校夜間学級副校長、玉川警察署少年係長、地域商店街振興組合副理事長 計5名

2 令和元年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会の開催日時、出席者、内容、その他

第1回 令和元年6月14日(金) 内部委員6名、協議委員4名

協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出、学校経営計画の説明、昨年度の学校運営連絡協議会の課題、本校の現状と課題等説明、意見交換

第2回 令和元年11月22日(金) 内部委員6名、協議委員4名

授業公開、これまでの教育活動に関する報告、協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価アンケートの内容検討、意見交換

第3回 令和2年2月10日(月) 内部委員6名、協議委員2名

教育活動に関する報告、学校評価アンケートの分析報告、学校運営に関する協議並びに提言、次年度に向けた確認

(2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他

第1回 令和元年6月14日(金) 内部委員2名、評価委員1名

学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果の分析・考察、今年度学校評価、実施に向けた検討

第2回 令和元年11月22日(金) 内部委員2名、評価委員1名

今年度学校評価の観点・項目、アンケート内容の検討、実施時期及び方法の検討

第3回 令和2年2月10日(月) 内部委員2名、評価委員1名

アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理、評価報告書(原案)の検討

3 学校運営連絡協議会による学校評価

(1) 観点は昨年度同様に「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」で実施する。

(2) アンケート調査の実施時期・対象：1月に生徒・保護者・教職員・地域関係者に行う

(3) 主な評価項目：学習指導、生活指導、進路指導、特別活動、部活動、健康・安全、ライフ・ワーク・バランスの推進等

(4) 学校評価アンケート結果について(アンケート用紙参照)

① 生徒対象 回収率100%(20/20 長欠者を除く) 昨年度回収率100%(33/33)

・全体的に高い数値である。回答人数が少ないので数値の変動が多少ある。

・「あなたは、部活動に積極的に取り組んでいますか」に対する肯定的な評価の割合が60.0%と低い。部活動の活性化が課題である。

② 保護者対象 回収率70.0%(14/20) 昨年度回収率45.5%(15/33)

・全体的に高い数値である。回収率は向上した。回答人数が少ないので数値の変動が多少ある。

・「あなたは、本校での授業が生徒の学力を伸ばしていると思いますか」に対する肯定的な評価の割合が76.9%と少し低い。学力向上が課題である。

・「家の近くである。」に対する肯定的な評価の割合が71.4%と少し低い。生徒募集の参考にしたい。

③ 教職員対象 100%(10/10) 昨年度回収率100%(9/9)

・全体的に高い数値である。評価Aと評価Bを区別してみると質問によって違いがある。

・「本校は、進路情報を収集しそれを提供するように努めていますか」に対する肯定的な評価の割合が70.0%と少し低い。生徒への情報提供と教員の情報共有が課題である。

④ 地域中学校・教育施設対象 39.1%(18/46) 昨年度回収率43.1%(25/58)

・回収率が低い。中学校長宛てに郵送しているが、中学校第3学年主任等への振り分け依頼等も検討したい。

・「安心し、落ちついて生活できる」の回答が78.6%と少ない。本校の魅力であるので、生徒募集でPRしていきたい。

4 成果と課題

本校の教育活動への満足度は各対象とも高い。生徒への進路情報の提供や学力の向上に向けた取組み、部活動の活性化などが来年度への課題である。今後は、多様な生徒に対して適切な指導を行い、本校の特長を明確にするための更なる教育活動の工夫が必要である。